大きくなって戻ってこいよ

横越で鮭の稚魚放流

元気よく泳ぎ出す鮭の稚魚

春の訪れの感じられる三月二十七日、四十万尾の鮭の稚魚が、横雲橋から下流七百メートルの横越地内で阿賀野川に放流されました。

これは魚資源の確保を図るため、阿賀野川漁業協同組合が毎春何回かに分け行っているものです。

この日、村松町三の宮ふ化場においてふ化され、三ケ月余りで五センチ程に育った稚魚は、村の漁協関係者らが「元気で帰ってこいよ」と見送る中、長旅の始まりとなる阿賀野川に泳ぎ出していきました。

自然の掟が待ちうけるなか、稚魚は雪解けの水に乗ってはるばる北洋へ行き、四・五年後には体長七十センチぐらいに成長して元の川に帰ってきますが、内水面水産試験場の話では無事に帰ってこれるのはそのなかで僅か〇・二～〇・三%ということです。

人権擁護委員に長瀬正稔さん再任

昭和六十二年四月十五日付けで大字小杉の長瀬正稔さん（六十六歳）が、法務大臣から人権擁護委員として再び委嘱されました。

本村の人権擁護委員には、長瀬さんのほかに、大字横越の岩橋光御さんが委嘱されています。

委員は、国民に保障されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及、高揚を図るために置かれているものですが、私的制裁、名誉信用等の侵害、村八分、教育を受ける権利の侵害、強制圧迫、酷使虐待、生活権の侵害などの問題でお困りの方は、無料で他にもれることは絶対にありませんので、安心して気軽にお出かけいただき、ご相談ください。

長瀬正稔さん☎三六平二二〇
岩橋光御さん☎三六平二三〇七

献血功労者を表彰

村公衆衛生協議会では、三月三十一日に開催した総会において、昭和六十一年度献血功労者として、村内在住十回以上十一名、村外二十回以上二名を表彰しました。

村内表彰者は次のとおりです。

（敬称略）

十二回　遠藤　鉄雄（小杉）
十一回　佐藤安喜夫（沢海）
十一回　石井久以知（木津）
十一回　中野　芳夫（横越）
十一回　田代　将樹（沢海）
十　回　増淵　一雄（横越）
十　回　板垣　憲二（沢海）
十　回　五十嵐伊美子（木津）
十　回　中川　悦生（小杉）
十　回　山崎　昇（小杉）
十　回　佐藤　静子（木津）

「なんでも相談」のご利用を
5月20日(水)
AM9:00～
PM4:00
役場村長室

新刊案内

公民館図書室

NHK大黄河　第五巻
大河渤海に到る
NHK取材班
十六歳のマリンブルー
本城美智子
心中天の網島　田中　澄江
グリンベレーの挽歌
柘植　久慶
漂泊の楽人　内田　康夫
吉原御免状　隆　慶一郎
ある中国残留孤児の場合
中野　孝次
おんなコドモの風景
干刈あがた
陽炎の街　西村　寿行
天井から降る哀しい音
耕　治人
脳　死　立花　隆
かわいい嫁素敵なお姑さん
毎日新聞
有名人川人に学ぶなるほど命名術
栗原すみ子
哀しみの女　五木　寛之

5月の納税等

軽自動車税	全期
自動車税	全期
国民年金保険料	2期（5月分）
下水道受益者負担金	1期

※他多数増書していますので是非ご利用ください。

母と子の会話 ⑧

白倉　丘

学ぶことの大切さ

大正末期に生まれた人間の思い出を聞いていただきたいと思います。

私の学んだ木津小学校の男子同級生の半数は、戦争で亡くなりました。その人たちを生み育てたご両親も、二十歳の子の面影を抱きながらこの世を去っていかれました。

生き残って、平和なしかも豊かな時代を迎えることができた者として、また、平和な時代に生まれ育った親の第一に為すべきことは何だろうと、よく考えます。それは、戦争の空しさ、哀しさと、平和の有難さを語り継いでいくことだと思います。

私も小学校、中学校の教師でありましたから、夏の敗戦記念日の前には、全校の子供たちに語りかけてまいりました。しかし、今の子供たちに分からせることは大変難しいように思います。

このことについて、お母さん方はどんなふうになさって居られましょうか。実際に工夫して居られることがありましたら、是非お聞かせくださるようお願いします。

私たちの世代は、日本歴史になかった大変な時代の、その荒波をまともにかぶったのであります。と申しますと、誠に暗い時代だけであったように聞こえますが、楽しい思い出はあります。子供の頃は、農村の豊かな自然の中に、伸び伸びと思っきり遊ぶことができたということであります。

私の家のわきの小路は、今も昔の面影が残っています。大きな樹木によって、炎熱の夏も涼しく、裸足になれば土の湿りけが気持ちよく感じられたものであります。その小路で、上級生も下級生も一緒になって、よくリレー競争をやったものであります。勝ち負けはともあれ、それぞれ全力を出して走ることに満足感を味わっていたようであります。

雪が消えると、柳の枝で刀を作り、上級生の統率のもとに兵隊ご

村民著作の図書紹介⑨

田村順三郎著「資料大江山村史」

木津　山田正三

田村順三郎先生は、旧大江山村茗ケ谷の出身でおられ、旧制高校より京都大学法学部に学び、有名な佐々木惣一博士の薫陶をうけた。のち満州国官吏となり、引き揚げ後は郷里の中学・高校に勤務しながら小林存先生に師事し、古文書や郷土史の研究執筆に精励された。

資料大江山は、昭和四十八年に発刊された百ページに近い大冊の本である。

題名は大江山村史となっているが、歴史資料は旧亀田郷一町七ケ村（亀田・大江山・横越・大形・石山・鳥屋野・曽野木・両川）に及び、私たち横越村関係の記述も多い。

資料内容は、旧幕府時代より昭和初期に至る政治関係、治水、交通、物産、宗門、文学及び各旧家に伝わる古文書の紹介等々である。

旧横越組各村（江戸末期百三十ケ村）の大庄屋は建部、小林家が最後で、最初の大庄屋は阿部太兵衛氏（子孫新発田市近郷在住）であったことをこの本により、はじめて知った。

詩文の項をひもとけば、いずれも横越附近の阿賀野川と横雲橋を詠じた詩と短歌で、建部庄助―蔵軒―遯吾三代にわたる各先生や佐藤与一代議士・小林存先生など馴染み深い令名に接する。

沸々として興味尽きない本であって、無味乾燥の堅い学者の研究記録ではない。

5月11日～20日

春の全国交通安全運動

〝飛び出すな〟ぼくたちみんなの合言葉

五月十一日から十日間、全国いっせいに「春の交通安全運動」が行われます。

〈運動の重点〉

一、子供と高齢者の交通事故防止
二、正しい方法によるシートベルト・ヘルメット着用の徹底
三、若年運転者の無謀運転の追放

○　家族で子供と高齢者の交通事故について話し合う。
○　子供、高齢者の使用する自転車の点検・整備を励行する。
○　家族でシートベルト・ヘルメットの正しい着用、交通安全等について話し合う。
○　家族で交通事故・違反防止について話し合う。

住宅供給公社

横越団地住宅展示会

5月16日から31日まで

新潟県住宅供給公社では、住宅展示会を五月十六日から三十一日まで横越団地で開催し、五戸分譲します。

展示期間及び購入申し込み受付期間
5月16日(土)～5月31日(日)

展示戸数
五　戸
（全戸賃借権付分譲住宅です）

分譲方法
・賃借権付分譲
土地を賃借権とし、入居時における自己資金の負担を軽減し、入居しながらそれぞれの資金計画に合わせて、将来は土地の完全所有権を取得するものです。

展示住宅分譲価額帯
㈠所有権取得分譲住宅
（土地、建物を一括して購入）
二、〇四六万円から二、一〇七万円台
㈡賃借権付分譲住宅
一、七五七万円から一、八一八万円台

展示住宅最多価額帯
二、〇〇〇万円台

規　模
㈠土地面積
二七四・〇一㎡～二七四・三六㎡
㈡建物面積
一一一・九㎡～一一九・七八㎡

融　資
住宅金融公庫、住宅供給公社補足立替、公社提携ローンなどが利用できます。

詳しいことは、新潟県住宅供給公社分譲課二六五一六一三または役場建設課二六平二二一に問い合わせください。

自然に

いろいろな場所で、いろいろな遊びを、学校から帰れば日が暮れるまで楽しんだのですから、遊び場がない、時間がない、その上教育ママにしごかれるとか言われている今の子供たちより幸せであったのかもしれません。

夏休みになれば、一日の大部分を川で遊んだように記憶しています。用水堀で泳ぎを覚えてから小阿賀野川へ出たものです。そこで、上級生からいろんなことを教わりながら、また、自分の体験によって、自分の身を護る方法を会得していったのであります。

勿論、監視人などは居りません。それぞれ自分の責任で泳いでいたということであります。

話は変わりますが、私は時々昔の芋洗いの光景を懐かしく思い出します。里芋が採れると、どこの家でも井戸のわきに大きな桶を持ち出し、大小の芋をその中に入れ、水をたっぷり入れて、板でかきまわすのです。しばらくかきまわしていると、皮がきれいにとれるのです。

私たち子供の頃の遊びは、丁度この芋洗いのようなものではなかったかと思うのです。上級生も下級生も、強い子も弱い子も、学校の成績のよしあしなどは忘れて、みんな一緒になって遊びに没入したのです。その遊びの中で―勿論喧嘩もあり、いじめられることもありました―自分の生命は自分で守ることや、人とのつき合い方、いわば社会生活の基本ともいうべきものを、自然に学んだと思うのです。

この自然に学ぶというのが大切だと思うのです。

（原稿は有線放送で放送されたものをまとめたもの）

っこなどもやりました。

国税専門官採用試験

○受験資格
昭和35年4月2日から昭和41年4月1日までに生まれた者。
○試験の程度
大学卒業程度
○申し込み受付
5月15日から22日まで
○申し込み先
第一次試験地を管轄する国税局
○試験日
第一次試験　7月11日～12日
○試験地
第一次　東京都、新潟市ほか
○採用予定数　約八〇〇名
○問い合わせ
関東信越国税局
☎〇三―三―三九二一　内線　二〇六六